

＜日商簿記１級工業簿記ミニテスト 19＞等級別総合原価計算

＜問題＞

次の資料にもとづいて、等級別総合原価計算を行い、各等級製品の月末仕掛品原価、完成品総合原価および完成品単位原価を計算しなさい。計算過程で端数が生じる場合は、最終結果を円未満で四捨五入すること。

【資料】

「生産データ」	X 製品		Y 製品
月初仕掛品	400 (50%)	月初仕掛品	800 (75%)
当月投入	7,800	当月投入	7,400
合計	8,200	合計	8,200
月末仕掛品	600 (50%)	月末仕掛品	1,000 (40%)
完成品	7,600	完成品	7,200

() 内の数値は加工進捗度を示す。

材料はすべて工程の始点で投入されている。

「等価係数のデータ」

等価係数は、原価要素別に次のように設定している。

	X 製品	Y 製品
直接材料費	1	0.9
加工費	1	0.7

「原価データ」

	X 製品	Y 製品	合計
月初仕掛品原価			
直接材料費	63,000	150,300	213,300
加工費	44,500	70,000	114,500
当月製造費用			
直接材料費	—	—	3,759,600
加工費	—	—	5,292,000

「その他データ」

①当社の等級別計算は、等価係数を当月製造費用について各等級製品に按分する際に使用している。

②完成品と月末仕掛品への原価配分は、X 製品は平均法を、Y 製品は先入先出法を用いている。

<答案>

完成品総合原価

X 製品	
Y 製品	

月末仕掛品原価

X 製品	
Y 製品	

完成品単位原価

X 製品	
Y 製品	